

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向1-4)		仙台の強みを活かした新たな担い手の育成			
1	事業名	1 地域防災リーダー養成・支援事業			
2	概要	自主防災組織が災害時に機能し、住民の安全が確保されるよう、実技・実習を充実させた本市独自の講習カリキュラムによる養成講習を実施するほか、講習修了者の防災活動を支援するため、活動発表会等の開催によるネットワークづくりを行う。			
3	担当課名	危機管理室減災推進課			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
5	平成29年度実施状況	○新規養成講習会 養成人数52名 ○市全体バックアップ講習会 SBL320名参加 ○各区バックアップ講習会 各区合計320名参加			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		6,097千円	7,809千円		
7	重点施策「仙台の強みを活かした新たな担い手の育成」に対して	(1) 貢献できたこと			
		各地域で活動しているSBLの資質向上と地域との連携強化を目的とした「全体バックアップ講習会」及び「各区バックアップ講習会」を着実に開催し、本講習会の目的を達成できた。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	当初の目標である市全体で600名を維持していくため、様々な事情により活動を辞退したSBLの補充として、新規養成を継続していく必要がある。		
		<input type="checkbox"/> 拡大	また、SBLの高齢化、女性比率が低いことなどから、女性や若い世代の受講者増加を図る必要がある。		
		<input type="checkbox"/> 縮小			
		<input type="checkbox"/> 廃止			
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 ※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう	→	①	
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①④⑧⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		※以下から選択、番号を記入(複数回答可)			
		①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー(CSW) ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所(CSWを除く) ⑫市の関係部局(各課公所名:消防局)			
		(3) 上記の理由、具体的な連携の状況(うまくいった点、工夫した点など)			
当該事業の重要性、必要性について、継続的に丁寧な説明に努め相手の理解を得られたことが良好な連携に繋がった。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向1-4)		仙台の強みを活かした新たな担い手の育成			
1	事業名	2 地域力創造支援事業			
2	概要	地域主体の地域づくりを進めるため、町内会をはじめとする地域団体が協働・連携し、新たな担い手の発掘・育成に関する取り組みや地域課題の発掘・解決に資する事業を実施する。			
3	担当課名	市民局地域政策課			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他()			
5	平成29年度実施状況	市民センター28館において、町内会をはじめとする地域団体が協働・連携し、新たな担い手の発掘・育成に関する取り組みや地域課題の発掘・解決に資する事業を企画・実施した。			
6	事業費	29年度決算額			
		6,624千円	30年度予算額 2,870千円		
7	重点施策「仙台の強みを活かした新たな担い手の育成」に対して	(1) 貢献できたこと			
		市民センターのコーディネート機能を生かして、町内会をはじめとする地域団体の協働・連携により、新たな担い手の発掘・育成に関する取り組みや地域課題の発掘・解決に資する事業を実施し、地域主体の地域づくりの推進を図った。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	平成30年度は、事業期間が3年に満たない市民センター10館において事業を実施しているとともに、今年度より新たに市民センターにおける地域を担う人づくり支援推進事業を各地区で展開している。			
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①~⑫のことをいう</small>	→	①	
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	②④⑦⑧⑨⑪⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		※以下から選択、番号を記入(複数回答可)			
①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー(CSW) ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所(CSWを除く) ⑫市の関係部局(各課公所名:各区・総合支所まちづくり推進課、各区中央市民センター等)					
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況(うまくいった点、工夫した点など)					
本事業は3団体以上の地域団体等の連携事業であることを要件としており、市民センターのコーディネート機能を生かして、町内会をはじめとする複数の地域団体の協働・連携により取り組むことができた。また、事業を通して地域団体間のネットワークや協力関係の構築といった効果が生まれている。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向1-4)		仙台の強みを活かした新たな担い手の育成			
1	事業名	3 市民協働によるまちづくりの推進			
2	概要	市民からの提案に基づく協働型事業の仕組みの推進や、まちづくりに関する議論の場づくりを進めるなど、複雑化・多様化する地域課題を市民の創意を活かして解決していく仕組みを構築することで、新たな担い手の発掘・育成や多様な主体との協働によるまちづくりを推進する。			
3	担当課名	市民局市民協働推進課			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他()			
5	平成29年度実施状況	「市民協働事業提案制度」平成29年度事業として5事業を実施した。また、平成30年度事業として4事業を採択候補事業に選定し、事業実施に向けた団体と市担当課による事前協議を実施した。 複数団体が連携し、まちづくりに取り組む事業へ助成する「協働まちづくり推進助成事業」を平成29年度にモデル実施し、4事業を実施した。また、平成30年度事業の募集にあたり、助成期間を最長2年間に設定し、応募6事業中4事業を助成候補事業に選定した。			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		17,796 千円	28,101 千円		
7	重点施策「仙台の強みを活かした新たな担い手の育成」に対して	(1) 貢献できたこと			
		<p>「市民協働事業提案制度」は、地域の課題について市民活動団体等からの提案を募集し、仙台市と協働で解決していく趣旨で設けられた取り組みであり、市民協働により事業を実施する手法を構築することに寄与した。</p> <p>「協働まちづくり推進助成事業」は、複数団体が協働により実施する取り組みに対して、事業費の助成と併せて必要な専門家の派遣等の支援を行う事業であり、課題解決に取り組みながらまちづくりの担い手育成に寄与できるよう、支援体制を構築した。</p>			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	課題解決のための「市民協働」という手法に関する理解を深めるため、今後も、本制度の実施や、職員を対象とした市民協働に関する研修を実施する。 多様な主体の協働によるまちづくりをさらに推進していくためにも、庁内外における本制度の周知に努めていく。		
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		<small>※以下から選択、番号を記入</small> ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①④⑤⑥⑧⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
<small>※以下から選択、番号を記入(複数回答可)</small> ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関(相談機関名:仙台市市民活動サポートセンター、アシ☆スタ) ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー(CSW) ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所(CSWを除く) ⑫市の関係部局					
		(3) 上記の理由、具体的な連携の状況(うまくいった点、工夫した点など)			
<p>「市民協働事業提案制度」の検討委員会、「協働まちづくり推進助成事業」の審査会議、サポートチームなどについて、上記の担い手をメンバーとして、それぞれの専門性を生かしながら提案事業・申請事業に対して実情に即した支援や助言が可能な体制を構築している。</p>					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向1-4)		仙台の強みを活かした新たな担い手の育成			
1	事業名	4 小地域福祉ネットワーク活動への支援			
2	概要	高齢者等の地域生活を支え、災害等の緊急時において、安否確認や在宅の要介護者への支援を行うなど、本市における住民主体の生活支援活動に大きな役割を果たしてきた小地域福祉ネットワーク活動について、福祉委員等の活動者に対する支援をすすめ、新たな担い手の育成や活動の活性化を図る。 また、小地域福祉ネットワーク活動の活性化にあたっては、大学との連携を強化し、地域のコーディネーターの育成やネットワークづくりの推進による活動の充実を図る。			
3	担当課名	仙台市社会福祉協議会			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他()			
5	平成29年度実施状況	各区事務所において、地区社協の小ネット活動の中から見出された支援ニーズに応える形で、年1回「小地域福祉ネットワーク活動研修会」を企画・実施し、小ネット活動活性化の支援を行っている。また地域福祉の増進に関わる各団体のリーダー的立場の方々を対象として、地域の状況や課題を共有し、より良い地域づくりにつなげて頂くため、年1回「地域福祉活動リーダー研修会」を開催している。			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		252千円	252千円		
7	重点施策「仙台の強みを活かした新たな担い手の育成」に対して	(1) 貢献できたこと			
		上記研修には、地区社協をはじめ、地域の各団体との接点を持つ区事務所のCSWが関与することにより、適格に課題を整理し、適切な支援に結びつけることができている。具体的には研修の講師も地域福祉を専門とする大学の教授から、身体機能低下防止を主眼とした体操の講師まで、ニーズに応じ幅広く調整を行っている。			
7		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	地域福祉に取り組むキーパーソンやリーダーのノウハウが、世代交代により断絶してしまうことがないように、本事業を継続し、後継者の育成やネットワークの維持発展に向けた間接的な支援を行う。		
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	③	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①②④⑤⑦⑧⑩	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		※以下から選択、番号を記入(複数回答可)			
①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関(相談機関名:地域包括支援センター) ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー(CSW) ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所(CSWを除く) ⑫市の関係部局					
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況(うまくいった点、工夫した点など)					
研修は例年継続し実施しており、各地区活動の持続的な運営に寄与している。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向1-4)		仙台の強みを活かした新たな担い手の育成			
1	事業名	5 ボランティア・市民活動ネットワーク会議			
2	概要	市ボランティアセンターが中心となって、大学のボランティアセンター、仙台市民活動サポートセンター、エル・ソーラ仙台、エル・パーク仙台、市民センター等で構成される会議を開催し、地域密着型の活動をする団体と専門的な活動を行う団体とが互いの情報を共有しながらネットワークを構築するとともに、新たな担い手の発掘・育成につなげる。			
3	担当課名	仙台市社会福祉協議会			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ボランティア・市民活動支援団体）			
5	平成29年度実施状況	○年2回実施。 ○情報交換の他、テーマを設けてワークショップを実施（第1回「ボランティア・市民活動への参加を促進するために」第2回「各団体のイチオシポイント・ウイークポイントを共有しよう」「グループメンバーで協働して実施する企画を考えてみましょう」）。 ○参加団体数：19団体、延べ参加者59名			
6	事業費	29年度決算額			
		39千円	30年度予算額 60千円		
7	重点施策「仙台の強みを活かした新たな担い手の育成」に対して	(1) 貢献できたこと			
		実施回数を年2回とし、大学ボランティアセンターや中央市民センターなどにも呼びかけ19団体の参加を得て、広くボランティア・市民活動に関わる中間支援組織間の取り組み状況を共有するとともに、情報だけでなくワークショップを行うことで、お互いの強みや弱み、具体的に相互協力・連携の可能性を探るなど、新たな担い手の育成・支援に向けて話し合う場を提供することができた。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	それぞれの組織が持つ特徴や資源などを効果的につなげるネットワークを構築することで、市民がボランティア・市民活動に参加しやすい環境を整えることを目的とする。そのために関係者間で継続的に必要とされる会議となるよう、内容や今後のあり方を検討する必要がある。			
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		<small>※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった</small>			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①④⑩⑪	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
<small>※以下から選択、番号を記入（複数回答可）</small> ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局					
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）					
関係者を訪問し、直接説明等を行い、顔の見える関係づくりに努めた結果、在仙の6大学のボランティア担当者に参加いただくことができた。また、一部であるが中央市民センターの参加にもつながった。会議への参加の有無にかかわらず、できるだけ訪問して関係づくりを深めていきたい。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向2-1)		地域団体による福祉活動の充実・強化			
1	事業名	1 地域保健福祉を担う町内会、民生委員、地区社会福祉協議会、老人クラブなどへの活動支援			
2	概要	さまざまな分野において地域保健福祉活動を行う団体等に対し、活動の活性化を図るための支援を行う。			
3	担当課名	健康福祉局高齢企画課			
4	事業の対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
5	平成29年度実施状況	高齢者の福祉の増進を図ることを目的として、老人クラブの活動に対し助成金を交付した。地域社会福祉活動促進のための研修会を5区で1回ずつ開催した。			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		54,887千円	56,172千円		
7	重点施策「地域団体による福祉活動の充実・強化」に対して	(1) 貢献できたこと			
		単位老人クラブへの助成金交付のほか、地域社会福祉活動を行うクラブへの補助金交付を通じ、社会奉仕やレクリエーションの自主的な活動を行う老人クラブへの支援を行った。研修会では有識者（大学講師）による地域社会福祉活動に関する講話（基礎編）及び既に活動を実践している老人クラブからの情報共有を行うことで、活動の活性化に向けた意識喚起を図ることができた。			
7	重点施策「地域団体による福祉活動の充実・強化」に対して	(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	社会奉仕やレクリエーション等を通して、会員相互の交流を深め、地域における高齢者の活動の場となっている老人クラブ活動をさらに活性化させるため、助成金・補助金交付による資金面での援助及び研修会開催による地域社会福祉活動のノウハウの情報提供等、継続的な支援を行っていく。		
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		<small>※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった</small>			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	③④⑤⑧⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		<small>※以下から選択、番号を記入（複数回答可）</small>			
		①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関（相談機関名：地域包括支援センター） ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：市民センター）			
		(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）			
		町内の清掃活動や老人ホーム等福祉施設への友愛訪問、近隣の小学校・児童館・市民センターでの伝統行事伝承活動をはじめとする世代間交流等の地域社会福祉活動への取り組みのほか、地域包括支援センターと連携した老人クラブ活動集の作成、『地域版認知症ケアパス』の「地域での交流の場一覧」に老人クラブ会員以外でも参加できるサロンを開いているクラブの情報を掲載する等、関係団体との連携を深めている。			

8	庁内または他の組織との連携状況	※以下から選択、番号を記入（複数回答可） ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関（相談機関名：地域包括支援センター） ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：震災復興部門、障害・高齢部門、区役所）
		(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）
		関係機関や支援関係者等との会合や研修会の開催により、活動者のスキルアップや情報共有が図られた。また、地域包括支援センターとの定期的な情報共有の機会等を通じ、それぞれの立場からの課題や強みなどを理解し、連携の方向性などを考える契機となった。復興期における取組みについて、CSW自身が振り返ることで、地域住民に必要とされている役割、支援の方向性について再確認することができた。

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向2-2)		コミュニティソーシャルワーカーによる地域支援活動と 人材育成の促進	
1	事業名	2 コミュニティソーシャルワーカーによる地域支援活動	
2	概要	コミュニティソーシャルワーカーが中心となって、復興公営住宅の入居者や周辺住民、地域の市民センター、地域包括支援センター、学校、地区社会福祉協議会、区役所等をつなぎ、顔の見える関係や支援機関同士の連携を促進し、課題解決のための仕組みづくりを進める。また、市内各地域に出向きながら、地域のさまざまなニーズ把握や地域住民との信頼関係の構築に取り組み、地域内のリーダーやコーディネーターを育成するなど、地域の主体的な活動を側面から支援する活動につなげる。	
3	担当課名	仙台市社会福祉協議会	
4	事業の対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（地域住民）	
5	平成29年度実施状況	OCSWを各区・支部社会福祉協議会に配置（実施体制：統括CSW、CSW、補助職員） ○復興公営住宅が建設される地域を「重点地区」として、見守り・支え合い体制づくりに向けた取り組みを実施（サロン活動の立ち上げ・運営支援、支援者会議等の住民支援の組織化、交流会の実施など住民主体の支援活動を促進する助成金の交付・企画支援など） ○CSWの活動件数（5区合計） ・活動件数：5,795件（うち震災関連 1,098件） ・活動手法：（アウトリーチ 1,818件、電話 2,172件、来訪 1,489件、その他（メール等）316件） ・相談対応件数：1,666件	
6	事業費	29年度決算額	
		37,233千円	30年度予算額 118,394千円 ※人件費予算の組み替えによる増。
7	重点施策「コミュニティソーシャルワーカーによる地域支援活動と人材育成の促進」に対して	(1) 貢献できたこと	
		復興公営住宅整備地域の住民が主体となった支え合い活動が一層推進されるよう、各種助成金や支援団体の情報提供を行ったほか、活動の担い手となる自治会のリーダー等の相談に対して、必要な支援を展開した。 また、復興期におけるCSWの取り組みについて振り返りを行い、今後の地域活動の支援においても有効と思われる支援手法やCSWが担うべき役割についての議論を通じて、一定程度の認識を共有することができた。	
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性	
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	CSWによる活動実績や事例を関係者間で共有しながら、支援活動のノウハウや手法を蓄積することで、支援力の底上げを図る。 復興公営住宅整備地域への支援とともに、地域共生社会の実現に向けた住民主体の取り組みに対し、CSWがより積極的に支援展開することで、地域力の強化を図る。	
	(1) 連携状況		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 ※担い手とは(2)連携相手①～⑩のことをいう	→	①
	※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった		
	(2) 連携相手		
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし

8	市内または他の組織との連携状況	※以下から選択、番号を記入（複数回答可） ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関（相談機関名：県サポートセンター支援事務所、宮城県社協、地域包括支援センター等） ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局 （各課公所名：各区保健福祉センター、まちづくり推進課、被災者生活支援室等）
		(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）
		CSWが住民主体の地域福祉活動の場に出向き、実際の場で状況の把握や活動の担い手の声を聞くとともに、必要に応じて区役所等の関係各課や介護や福祉サービス事業者をはじめ各種相談機関との連携や調整を図りながら進めることで、その地域の特性や状況、支援の方向性などを共有した上で、各々の支援が展開できるよう努めた。

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向2-2)		コミュニティソーシャルワーカーによる地域支援活動と 人材育成の促進			
1	事業名	3 安心の福祉のまちづくり事業			
2	概要	地区社会福祉協議会による被災者支援活動や地域コミュニティの再生強化に繋がる活動に対して活動費を助成するとともに、市社会福祉協議会及び各区・支部事務所による活動支援を通して地域住民がともに支え合う地域づくりを進める。			
3	担当課名	仙台市社会福祉協議会			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 地域住民 ）			
5	平成29年度実施状況	市社会福祉協議会区事務所の活動支援により、地区社会福祉協議会が中心となり被災者支援活動及び地域コミュニティ再生強化活動を15件実施した。 <input type="checkbox"/> 被災者支援 2件 <input type="checkbox"/> 地域コミュニティ再生強化 13件			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		929千円	2,000千円		
7	重点施策「コミュニティソーシャルワーカーによる地域支援活動と人材育成の促進」に対して	(1) 貢献できたこと			
		事業の計画立案は地域の方を主体とし、その実施に向けてCSWが共に取り組むことで活動の担い手の自己効力感を高めながら、効果的な活動展開を支援できた。今年度は特に、住民同士の支え合い活動の基盤となる住民相互のコミュニティ意識の醸成を図るための取り組みに活用されており、活動することで関係団体間の連携やコミュニケーションが深まりが見られた。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	復興への取り組みが進むことで、被災された方も地域住民の一員として包含していく流れの中で、住民相互のコミュニティ再生強化を目的とした事業が大部分を占めるようになった。被災者への支援やコミュニティの再生強化についてのニーズは引き続き継続するものと想定するが、地域の支援ニーズの状況などの把握に努めながら、必要な修正等について検討する。		
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		<small>※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった</small>			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	⑨	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		<small>※以下から選択、番号を記入（複数回答可）</small> ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局			
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）					
助成金申請にあたっては、本会区支部事務所を窓口にし、支援計画も併せて立案している。このことにより、地域住民が主体となった活動展開に対して、CSWをはじめ本会区支部事務所の職員の積極的な関与にもつながっている。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向3-3)		災害に強い地域づくり	
1	事業名	1 新たな避難所運営マニュアルの作成	
2	概要	東日本大震災における避難所運営の反省を踏まえ、平成25年4月に作成した「仙台市避難所運営マニュアル」を参考に、地域団体、施設管理者、市の担当職員の三者協働による「地域版避難所運営マニュアル」の作成の推進を図る。 また、地域版マニュアルの作成後は、避難所運営訓練での検証等を通じて更新を行っていく。	
3	担当課名	危機管理室減災推進課	
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
5	平成29年度実施状況	「想定し得る最大規模」(1,000年に1度程度)の降雨を前提とした洪水浸水想定区域が新たに公表されたこともあり、洪水浸水想定区域内に含まれることとなった指定避難所のうち、大雨時の避難所運営マニュアル未作成の避難所運営委員会に対し、大雨時の避難所運営マニュアルの作成支援を行った。 また、すでに当該運営マニュアルを作成している指定避難所についても、マニュアルの内容確認を行い、大雨時の避難及び避難所開設に係る内容に修正するよう促した。	
6	事業費	29年度決算額	
		30年度予算額	
		2,014千円	
		4,130千円	
7	重点施策「災害に強い地域づくり」に対して	(1) 貢献できたこと	
		各地域の事情に合わせた大雨時の避難行動や避難所開設時のルール、連絡体制の整備が計られた。	
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性	
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	大雨時に開設する避難所であって、大雨時の地域版避難所運営マニュアル未作成の避難所に対して、マニュアル作成を促進できるよう周知していく。 また、随時公表される災害時に注意を要する区域について確認を行い、必要に応じて地区の避難所運営委員会に情報提供を行う。
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況	
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→ ①
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 ※担い手とは(2)連携相手①~⑫のことをいう	→ ①
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった	
		(2) 連携相手	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→ ④⑧⑫
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→ なし
		※以下から選択、番号を記入(複数回答可)	
①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー(CSW) ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所(CSWを除く) ⑫市の関係部局(各課公所名:各避難所担当課)			
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況(うまくいった点、工夫した点など)			
新たに公表された洪水浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫想定区域等に含まれることとなった地域に直接出向き、地域住民への説明会を実施した。 地域に災害時の避難行動の変更や避難所運営マニュアルの修正について周知啓発を行った。			

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向3-3)		災害に強い地域づくり	
1	事業名	2 防災意識の普及啓発強化事業	
2	概要	幅広い年齢層を対象として、家具の転倒防止や非常食等の備蓄など、「自助」の意識の浸透を図るための普及啓発、震災で得られたさまざまな課題（女性等への配慮、災害時要援護者支援など）の解決をテーマとしたシンポジウムの開催、地域における避難所運営のあり方などを含む防災意識の啓発を行う。	
3	担当課名	危機管理室減災推進課	
4	事業の対象者	■ 高齢者 ■ 障害者 ■ 子育て世帯 ■ 地域活動者・支援者 ■ その他（全市民）	
5	平成29年度実施状況	<p>○せんだい防災のひろば開催（参加者約10,000名） 防災関連団体のステージイベントやブース展示を実施。</p> <p>○防災シンポジウム開催（参加者約500名） 有識者による基調講演や地域防災リーダー等の活動発表、救護の達人コンテスト等を実施。</p> <p>○地震防災アドバイザーによる防災講話等（TV・ラジオ・新聞含む）209回実施。</p> <p>○地震体験車ぐららの管理運用及び防災パネル展示 （ぐらら体験者8,854名 パネル展示観覧者数50,578名）</p>	
6	事業費	29年度決算額	
		18,365千円	30年度予算額 17,571千円
7	重点施策「災害に強い地域づくり」に対して	(1) 貢献できたこと	
		関係団体等と連携した防災イベントや講話等を通して、幅広い年齢層の方々に「自助」「共助」の重要性や女性の視点での防災対策の必要性を伝え、地域防災力向上に向けた取り組みの支援を実施することができた。	
7	重点施策「災害に強い地域づくり」に対して	(2) 課題と今後の取り組みの方向性	
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	今後も継続して関係団体及び関係各課と連携し、より幅広い年齢層に対し、様々な角度からの防災意識の普及啓発を実施していく。
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況	
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→ ①
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→ ①
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった	
		(2) 連携相手	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→ ①②④⑥⑧⑫
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→ なし
		※以下から選択、番号を記入（複数回答可）	
<input type="checkbox"/> ①NPO <input type="checkbox"/> ②ボランティア団体 <input type="checkbox"/> ③福祉サービス事業者 <input type="checkbox"/> ④学校 <input type="checkbox"/> ⑤相談機関 <input type="checkbox"/> ⑥企業 <input type="checkbox"/> ⑦民生委員児童委員 <input type="checkbox"/> ⑧町内会 <input type="checkbox"/> ⑨地区社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） <input type="checkbox"/> ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） <input type="checkbox"/> ⑫市の関係部局（各課公所名：防災環境都市推進室・社会課・建築指導課・住宅政策課・各区・消防局）			
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）			
<p>○当課主催イベント等に各防災関連団体及び各関係課のブース展示等を実施した。</p> <p>○関係団体及び関係課主催のイベントや説明会等において、当課のブース展示や講話、チラシの配布等を実施した。</p> <p>○関係課が作成するチラシ等に防災啓発の記事を記載した。</p>			

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向3-3)		災害に強い地域づくり	
1	事業名	3 地域防災リーダー養成・支援事業	
2	概要	自主防災組織が災害時に機能し、住民の安全が確保されるよう、実技・実習を充実させた本市独自の講習カリキュラムによる養成講習を実施するほか、講習修了者の防災活動を支援するため、活動発表会の開催によるネットワークづくりを行う。	
3	担当課名	危機管理室減災推進課	
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
5	平成29年度実施状況	○新規養成講習会 養成人数52名 ○市全体バックアップ講習会 SBL320名参加 ○各区バックアップ講習会 各区合計320名参加	
6	事業費	29年度決算額	
		6,097千円	30年度予算額 7,809千円
7	重点施策「災害に強い地域づくり」に対して	(1) 貢献できたこと	
		各地域で活動しているSBLの資質向上と地域との連携強化を目的とした「全体バックアップ講習会」及び「各区バックアップ講習会」を着実に開催し、本講習会の目的を達成できた。	
7	重点施策「災害に強い地域づくり」に対して	(2) 課題と今後の取り組みの方向性	
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	当初の目標である市全体で600名を維持していくため、様々な事情により活動を辞退したSBLの補充として、新規養成を継続していく必要がある。 また、SBLの高齢化、女性比率が低いことなどから、女性や若い世代の受講者増加を図る必要がある。
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況	
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→ ①
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→ ①
		<small>※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった</small>	
		(2) 連携相手	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→ ①④⑧⑫
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→ なし
<small>※以下から選択、番号を記入（複数回答可）</small> ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：消防局）			
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）			
当該事業の重要性、必要性について、継続的に丁寧な説明に努め相手の理解を得られたことが良好な連携に繋がった。			

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向3-3)		災害に強い地域づくり			
1	事業名	6 福祉避難所の機能強化			
2	概要	災害時に障害者や要介護者等、個々の状況に応じた対応を行うため、福祉避難所として協定を締結する施設を増やすほか、防災行政用無線をはじめとする資機材や備蓄物資の充実を図る。			
3	担当課名	健康福祉局総務課			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（施設関係者）			
5	平成29年度実施状況	○新規協定締結施設：5施設 （障害福祉サービス事業所2施設、障害者支援施設1施設、特別養護老人ホーム1施設、介護老人保健施設1施設）※H30.3.31現在 累計117施設と協定締結 ○民間施設に対する食糧・飲料水の備蓄購入費補助：11施設 毛布備蓄分購入：4施設 ○防災行政用無線設置：3施設（危機管理室において実施）			
6	事業費	29年度決算額			
		628千円	30年度予算額 2,180千円		
7	重点施策「災害に強い地域づくり」に対して	(1) 貢献できたこと			
		障害者支援施設や特別養護老人ホームなどの社会福祉施設と新規協定を締結することができた。 必要な物資等の備蓄や防災行政用無線の設置など、福祉避難所を円滑に運営するための環境整備を推進することができた。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	障害者の避難先の更なる確保に向けて障害者支援施設等との協定の締結を進めていく必要がある。			
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		<small>※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった</small>			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	③⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
<small>※以下から選択、番号を記入（複数回答可）</small> ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：障害者支援課・高齢企画課）					
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）					
新規協定締結に際しては、日頃から施設と繋がりのある施設所管課の協力を得ながら各施設との連絡調整等を行うことで、円滑に業務を進められたこと。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向3-3)		災害に強い地域づくり			
1	事業名	7 障害者災害対策推進事業（災害時ボランティア養成事業）の実施			
2	概要	手話奉仕員やガイドヘルパー等専門ボランティアの日常の活動を、災害時においても活かせる体制づくりを行う。			
3	担当課名	健康福祉局障害企画課			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
5	平成29年度実施状況	○災害時における専門ボランティア研修会の開催 1.「世界防災フォーラム／防災ダボス会議@2017『高齢・障がい（共生社会）と地域防災』」参加者数 8名 2.「災害時における市役所の動き」参加者数 18名 ○災害時専門ボランティア（手話、点訳・朗読、移動支援）の登録・更新 138名			
6	事業費	29年度決算額			
		305千円	30年度予算額 318千円		
7	重点施策「災害に強い地域づくり」に対して	（1）貢献できたこと 仙台市における災害対策と全国的な災害対策の動きについて学ぶ研修を実施し、専門ボランティアの大規模災害時における円滑な協力を得られるよう努めた。小冊子としてまとめた「災害時に必要な配慮と対応～障害当事者が体験した事例から学ぶ～」を作成し、障害者の震災時の困難な生活体験の理解を促した。仙障協ホームページにおける専門ボランティアの情報掲載や各ボランティアへの更新登録の案内を送ることで、新規登録者の増と既登録者の意識付けを促した。			
		（2）課題と今後の取り組みの方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 研修会の開催、専門ボランティアの育成は引き続きおこなう。 <input type="checkbox"/> 拡大 活動マニュアルの更新をすすめる。 <input type="checkbox"/> 縮小 仙台市総合防災訓練への参加について、震災後、防災訓練の内容の変化により参加できていないため、参加方法について相談する。 <input type="checkbox"/> 廃止			
8	庁内または他の組織との連携状況	（1）連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは（2）連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	③	
		<small>※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった</small>			
		（2）連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	②④⑫	
<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	⑦⑧			
<small>※以下から選択、番号を記入（複数回答可） ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：危機管理課、防災安全課、予防課）</small>					
（3）上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）					
東北福祉大学等と連携して「世界防災フォーラム／防災ダボス会議@2017『高齢・障がい（共生社会）と地域防災』」を共催し、専門ボランティアの参加を得たほか、仙障協が発行した「災害時に必要な配慮と対応～障害当事者が体験した事例から学ぶ～」を参考としながら、危機管理課による専門ボランティアに対する研修を実施した。次年度は障害当事者団体と連携した訓練を検討している。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向3-3)		災害に強い地域づくり			
1	事業名	8 六郷東部地区現地再建まちづくり			
2	概要	津波被災地域である六郷東部地区の地域コミュニティ力を高め、より住みやすく交流が盛んで賑わいのある地域とするため、東六郷小学校跡地、東六郷コミュニティ・センターを核とした世代間の交流や都市近郊農業地域であることなどの特性を活かした交流を促進する。また、運動教室等を通じた高齢者への健康支援を行うほか、避難経路や現地再建に資するハード面を含め健康で安心して暮らし続けられるよう支援を行う。			
3	担当課名	若林区ふるさと支援担当			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他()			
5	平成29年度実施状況	○地域住民と地域で活動する団体が実行委員会を結成して開催した「六郷東部ふるさと交流祭」について、実行委員会の活動支援を実施。 ○東六郷コミュニティ・センターの地域交流拠点としての定着化促進策として、まちづくりをテーマとした講座・研修会を開催。 ○運動自主グループの活動支援を実施(※若林区家庭健康課)			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		3,996千円	4,099千円		
7	重点施策「災害に強い地域づくり」に対して	(1) 貢献できたこと			
		六郷東部地区としてはじめて「ふるさと交流祭」を開催したことにより、地域内外の交流の活性化に向けた機運が醸成され、単位町内会だけではできないことが地域全体で取り組めばできるという自信につながった。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	①ふるさと交流祭の開催支援 昨年度に引き続き開催支援を行うとともに、実行委員会が来年度以降自立的に活動できるよう、支援を行う。 ②まちづくりをテーマとした講座・研修会の開催		
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①~⑫のことをいう</small>	→	①	
		<small>※以下から選択、番号を記入</small> ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①②⑦⑩⑪⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		<small>※以下から選択、番号を記入(複数回答可)</small> ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー(CSW) ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所(CSWを除く) ⑫市の関係部局(各課公所名:若林区家庭健康課)			
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況(うまくいった点、工夫した点など)					
関係課・機関と情報共有を図りながら業務を行った。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築			
1	事業名	2 ボランティアセンターによる地域福祉推進のための企業との連携事業			
2	概要	社会貢献の意欲のある企業と地域の福祉団体をマッチングする仕組みづくりを行う。また、企業への地域貢献活動の啓発に取り組む。			
3	担当課名	仙台市社会福祉協議会			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（企業）			
5	平成29年度実施状況	<input type="checkbox"/> 「仙台市内の企業における社会貢献・CSR活動に関するアンケート」実施 ・送付先：本会法人会員案内先企業1,610社／回収327社／回収率20.3% ・回答集計データ作成 <input type="checkbox"/> 仙台市社協職員研修「企業の社会貢献活動に関する勉強会」実施 ・平成30年3月19日15時00分～16時30分 ・テーマ「地域社会とCSR」 ・参加者27名			
6	事業費	29年度決算額			
		304千円	30年度予算額 666千円		
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと			
		企業との連携を進めるための基礎データを得ることができた。また、CSRに関する現状や考え方、企業の取り組みなどについて研修を実施し、社協職員のスキル向上が図られ、地域福祉と企業の連携を効果的に進める基盤を作ることができた。なお、アンケートおよび研修会では在仙大学の研究者の協力を得て行った。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昨年度の課題のひとつであった現状把握に取り組むことはできたが、具体的な企業へのアプローチができていないことから、マッチングの仕組みづくりや、 <input type="checkbox"/> 拡大 企業や地域に対する情報提供のあり方などを検討し、引き続き、企業がボラン <input type="checkbox"/> 縮小 ティア・市民活動に参加しやすい環境を整えることに取り組む。 <input type="checkbox"/> 廃止			
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	②	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑪のことをいう</small>	→	①	
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	④⑥	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	①②③⑦⑧⑨⑩⑪	
※以下から選択、番号を記入（複数回答可）					
<input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> ボランティア団体 <input type="checkbox"/> 福祉サービス事業者 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 相談機関 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 民生委員児童委員 <input type="checkbox"/> 町内会 <input type="checkbox"/> 地区社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> コミュニティソーシャルワーカー（CSW） <input type="checkbox"/> 仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） <input type="checkbox"/> 市の関係部局					
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）					
アンケートのコンセプトや質問内容などについて大学の研究者の協力によりアンケートを実施することができ、また分析等も協力して行うことで適切な分析ができ事業の基盤を作れた。また、同じ方を講師に招き、学習することで組織として情報や知識を共有することができた。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築	
1	事業名	3 生活困窮者自立支援事業	
2	概要	生活や仕事さがして困っている方のさまざまな悩みに対して、ワンストップで対応する相談窓口として、仙台市生活自立・仕事相談センター「わんすてっぷ」を設置する。相談者の抱えている課題をひとつひとつ丁寧に整理しながら、「支援プラン」を作成し、関係機関と連携しながら、生活の改善に向けた寄り添い型の支援を行う。また、民生委員や地域包括支援センター、地区社会福祉協議会、医療機関などにより対象者を早期に発見し、相談窓口につなげることができるよう、地域のネットワークづくりを進める。	
3	担当課名	健康福祉局保護自立支援課	
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
5	平成29年度実施状況	関係機関と顔の見える関係を築き、相談者の抱えている課題について、関係機関と連携しながら支援を行った。 ○ハローワークとの定例打合せ（月1回） ○民生委員児童委員協議会定例会や区自立支援協議会等の会議への参加、地域包括支援センター等事業所への個別訪問など	
6	事業費	29年度決算額	
		85,895千円	30年度予算額 86,967千円
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと	
		関係機関それぞれの専門性や強みを生かしながら、相談者の状態像に応じたきめ細かい支援を実施することができた。	
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性	
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	相談者の抱えている課題は複合的であることも多く、必要に応じ、今まで連携してきた機関に加えより多様な機関とも連携しながら自立に向けた支援を行っていく。	
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況	
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→ ①
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 ※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう	→ ①
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった	
		(2) 連携相手	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→ ①③④⑤⑥⑦⑨⑪⑫
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→ なし
※以下から選択、番号を記入（複数回答可）			
①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関（相談機関名：地域包括支援センター） ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：各区保護課、障害高齢課等）			
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）			
地域包括支援センター等事業所を個別に訪問したことにより、支援対象者像を共有でき、新規相談件数の増加につながった。また市の関係部局では、特に各区保護課等の福祉部門と連携を密にして支援を行っている。			

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築			
1	事業名	4 障害者の相談支援体制推進事業			
2	概要	全市及び各区の障害者自立支援協議会の取り組みを通じて、関係機関等が相互に連携を図ることにより、障害者等への支援体制に関する地域課題を共有し、地域の実情に応じた支援体制の整備を図る。			
3	担当課名	健康福祉局障害者支援課			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他()			
5	平成29年度実施状況	区内の相談支援事業所や社会福祉協議会、区役所等の関係機関が区毎に定期的集まり、障害者福祉における現状や課題について意見交換を行い、各機関の取組みに反映させている。また、困難事例については、事例検討等を行い、関係者間で支援方針を検討し、課題解決に向けた取組みを行っている。 <input type="checkbox"/> 各種会議の開催 174回 <input type="checkbox"/> 課題解決に向けたプロジェクト会議の開催 51回			
6	事業費	29年度決算額			
		3,103千円	30年度予算額 3,758千円		
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと			
		各種会議を通して、多様な関係機関が定期的集まることで、障害福祉分野に留まらず、地域のネットワーク構築に貢献した。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	支援希求が弱く地域との接点が限られている障害者等への支援等において、これまで以上に関係する他分野・機関とのネットワーク構築や連携が重要となる。既存のネットワークを活かしつつ、ネットワークの拡大を図っていく。			
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		<small>※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった</small>			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①②③⑤⑦⑧⑨⑪⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		<small>※以下から選択、番号を記入(複数回答可)</small> ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関(相談機関名:障害者相談支援事業所) ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー(CSW) ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所(CSWを除く) ⑫市の関係部局(各課公所名:区障害高齢課等)			
		(3) 上記の理由、具体的な連携の状況(うまくいった点、工夫した点など)			
		会議や事例検討の目的、具体的な方法、開催時間等は参加者間で話し合いながら決定している。このことにより、各々の参加者は主体的に参加することにつながり、ネットワークの緊密化に貢献している。			

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)	地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築
----------------------------	-------------------------------------

1	事業名	5 ひきこもり者地域支援事業														
2	概要	ひきこもり者の状態に応じた適切な支援を図るため、ひきこもり地域支援センターをはじめとした相談体制を強化するとともに、関係機関・支援団体との連携や情報提供などの取り組みを推進する。														
3	担当課名	健康福祉局障害者支援課														
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ひきこもり状態にある者）														
5	平成29年度実施状況	<p>(1) ひきこもり地域支援センター 概要：ひきこもり本人や家族等に対する支援を各種業務を組み合わせる実施する。 実績： ①相談事業： 電話相談延729件、メール相談延3件、来所相談延1,219件 ②訪問支援： 延27件 →延相談件数(①+②) 1,978件 ③家族支援(家族教室)： 延65回開催 ④居場所支援(サロン)： 延2,667名</p> <p>(2) ひきこもり地域相談会 概要：身近な地域における相談会を実施し、ひきこもりに関する問題を抱えた方の相談のきっかけとし、介入に繋げることを目的に実施。 実績：実人数24名参加(10代1名、20代10名、30代8名、40代2名)</p> <p>(3) ひきこもり支援連絡協議会 概要：前年度のひきこもり支援のあり方検討会の結果を踏まえ連絡協議会を年間10回開催。</p>														
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額													
		29,926千円	30,167千円													
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	<p>(1) 貢献できたこと</p> <p>ひきこもり支援のあり方検討会の結果を踏まえ、拠点機能における(1)各関係機関の相談受付、(2)事例検討、(3)関係機関によるネットワーク会議の開催とチーム支援の実施について検討・施行した。これらを通してひきこもり支援に係る関係機関のネットワーク化を図ることができた。</p> <p>(2) 課題と今後の取り組みの方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止</p> <p>【ひきこもり支援連絡協議会について】 各拠点機能から、実際の事例を持ち寄ったうえで複数の機関から多くの提案をもらい、今後の支援につなげていく。</p>														
8	庁内または他の組織との連携状況	<p>(1) 連携状況</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:60%;">■市の関係部局内との組織横断的な連携</td> <td style="width:10%; text-align: center;">→</td> <td style="width:30%;">①</td> </tr> <tr> <td>■地域保健福祉活動の担い手との連携 ※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td>①</td> </tr> </table> <p>※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった</p> <p>(2) 連携相手</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:60%;">■連携できた相手</td> <td style="width:10%; text-align: center;">→</td> <td style="width:30%;">①④⑤(仙台市自閉症児者相談センター) ⑦⑫(子供相談支援センター・児童相談所)</td> </tr> <tr> <td>■連携したかったができなかった相手</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td>⑤(生活困窮支援機関)</td> </tr> </table> <p>※以下から選択、番号を記入(複数回答可) ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関(相談機関名：上記) ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー(CSW) ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所(CSWを除く) ⑫市の関係部局(各課公所名：上記)</p> <p>(3) 上記の理由、具体的な連携の状況(うまくいった点、工夫した点など)</p> <p>庁内・庁外の各関係機関での相談受付の事例・チーム支援の必要性を共有し事例の見立てや方針の検討を行っている。また、関係機関によるネットワーク会議の開催・チーム支援実施の観点から効果的なひきこもり支援の仕組みについて展開している。</p>			■市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	■地域保健福祉活動の担い手との連携 ※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう	→	①	■連携できた相手	→	①④⑤(仙台市自閉症児者相談センター) ⑦⑫(子供相談支援センター・児童相談所)	■連携したかったができなかった相手	→	⑤(生活困窮支援機関)
■市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①														
■地域保健福祉活動の担い手との連携 ※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう	→	①														
■連携できた相手	→	①④⑤(仙台市自閉症児者相談センター) ⑦⑫(子供相談支援センター・児童相談所)														
■連携したかったができなかった相手	→	⑤(生活困窮支援機関)														

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築			
1	事業名	6 地域包括ケアシステム構築に向けた機能強化のための専任職員の配置			
2	概要	地域包括支援センターに、生活支援コーディネーターを配置し、高齢者を対象とした生活支援サービスの担い手となるボランティア団体やNPO等とのネットワークづくりに取り組む。また、地域ケア会議等を通じた地域住民や関係機関とのネットワークづくり、地域資源の創出等に取り組むとともに、認知症地域支援推進員として医療機関や認知症初期集中チームとの連携を推進し、認知症の方とその家族への地域支援体制づくりに取り組む。			
3	担当課名	健康福祉局地域包括ケア推進課			
4	事業の対象者	■ 高齢者 □ 障害者 □ 子育て世帯 ■ 地域活動者・支援者 ■ その他（地域関係機関）			
5	平成29年度実施状況	全地域包括支援センター（50か所）に専任職員を配置し、地域のネットワークづくりを行いながら、高齢者の方々への個別支援を通じ、主に以下の取組みを実施。 ○地域での支え合いの体制の充実 ○生活支援サービスの充実 ○認知症の対応強化			
6	事業費	29年度決算額			
		263,875千円	30年度予算額 275,659千円		
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと			
		地域住民や地域関係団体と顔の見える関係づくりが深まり、地域課題を共有し共に考える機会が徐々に増えている。その取り組みにより地域全体のネットワーク構築を推進している。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	顔の見える関係づくりを継続し、「地域の課題に気づき、関心をもつ住民」と「地域のことを共に考える機会」を圏域全体で持つ。 圏域ごとの通いの場の整理を行い、地域の実情に合わせた通いの場の創出につなげる。		
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①②③⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		※以下から選択、番号を記入（複数回答可）			
		①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：地域包括ケア推進課（所管）、高齢企画課、介護保険課、介護事業支援課、各区障害高齢課、各総合支所保健福祉課）			
		(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）			
専任職員の配置により、本来地域包括支援センターが果たすべき地域づくり・ネットワークづくりの意識が高まったセンターが増加している。また、区毎、市全体の専任職員の情報交換会の場を定期的に設け、課題の共有や抽出を行っている。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築			
1	事業名	7 地域ケア会議推進事業（区地域ケア会議）の実施（※H29より事業名変更）			
2	概要	地域の関係者が連携し、各区における地域包括ケアを総合的に推進することを目的として、区地域ケア会議を開催し、各地域包括支援センターの圏域を越えて区単位で取り組むべき課題の議論等を行う。			
3	担当課名	健康福祉局地域包括ケア推進課			
4	事業の対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（地域関係機関、介護保険サービス等事業者）			
5	平成29年度実施状況	各区において、区地域ケア会議を開催。5区合計で計6回開催。 ・青葉区、宮城野区、若林区、泉区：各1回 ・太白区：2回			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		1,650千円	3,866千円		
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと			
		区内の地域の関係機関と地域に不足する社会資源の育成等についての協議、情報交換を行うことができた。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止		今後、高齢化の更なる進展が見込まれ、地域包括ケアの一層の推進が必要となることから、区地域ケア会議の継続的な開催により、区内の地域の関係機関のネットワーク構築の促進を図る			
8	市内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		<small>※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった</small>			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	③⑦⑧⑨⑪⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		<small>※以下から選択、番号を記入（複数回答可）</small> ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：地域包括ケア推進課（所管）、高齢企画課、介護保険課、介護事業支援課、各区障害高齢課、各総合支所保健福祉課）			
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）					
継続した区地域ケア会議の実施により、地域の関係機関とのネットワークづくりや連携強化につながっている。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築			
1	事業名	8 地域包括支援センターによる包括圏域会議の開催			
2	概要	地域包括支援センターが担当する圏域において、地区の保健福祉医療関係者等で構成する会議を設置し、支援の必要な高齢者に関する情報交換や支援方法に関する検討会等を行う。			
3	担当課名	健康福祉局地域包括ケア推進課			
4	事業の対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（地域関係機関、介護保険サービス等事業者）			
5	平成29年度実施状況	50の地域包括支援センターにおいて、193回の包括圏域会議を開催した。			
6	事業費	29年度決算額			
		1,680千円	30年度予算額 2,600千円		
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと			
		包括圏域会議の開催により、地区の保健福祉医療関係者が話し合う場をつくることができた。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	今後、高齢化の更なる進展が見込まれ、地域包括ケアの一層の推進が必要となることから、包括圏域会議の継続的な開催により、地域における話し合いの場づくりを引き続き促進していく。			
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		<small>※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった</small>			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①②③⑦⑧⑨⑪⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		<small>※以下から選択、番号を記入（複数回答可） ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：地域包括ケア推進課（所管）、高齢企画課、介護保険課、介護事業支援課、各区障害高齢課、各総合支所保健福祉課）</small>			
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）					
地域包括支援センター設置以来、一貫して地域に根差した活動が継続しており、地域関係者との個別の関係づくりを行ってきた結果、関係者が一堂に会する包括圏域会議を開催できる状況となっている。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築			
1	事業名	9 地域包括支援センターによる包括的・継続的ケアマネジメント支援			
2	概要	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため設置している地域包括支援センターにおいて、高齢者が地域で安心してその人らしい生活を継続することができるように、関係機関との連携体制構築やケアマネジャーへの支援を行う。			
3	担当課名	健康福祉局地域包括ケア推進課			
4	事業の対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ケアマネジャー・地域関係機関）			
5	平成29年度実施状況	包括圏域会議を開催したほか、ケアマネジャーからの相談対応や、研修会等を開催した。 【包括圏域会議の開催】 ○50の地域包括支援センターにおいて、193回の包括圏域会議を開催した。 【地域包括支援センターに寄せられた相談件数】 ○のべ相談件数：56,948件 うち 介護支援専門員からの相談件数：4,112件 民生委員からの相談件数：2,649件 関係機関からの相談件数：12,501件			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		795,218千円	919,295千円		
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと			
		包括圏域会議の開催により、地域関係機関との連携強化を図ったほか、ケアマネジャーからの相談への対応や研修会等の開催により、関連する事業間の連携強化を図った。			
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	今後、高齢化の進展が見込まれ、地域包括ケアの一層の推進が必要となることから、地域の関係機関等の連携の強化に向けた支援を引き続き実施していく。平成27年度からの地域ケア会議の実施により、関係機関との連携やケアマネジャーへの支援を強化する。平成30年度から地域包括支援センターを2か所新設しており、より市民の相談しやすい環境整備に取り組む。		
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		<small>※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった</small>			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①②③⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
<small>※以下から選択、番号を記入（複数回答可）</small> ①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：地域包括ケア推進課（所管）、高齢企画課、介護保険課、介護事業支援課、各区障害高齢課、各総合支所保健福祉課）					
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）					
地域包括支援センターが設置されて以降、一貫して地域に根差した活動を継続してきた結果、地域内の協力関係を活かし連携することができる状況となっている。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築			
1	事業名	10 民間企業との連携による高齢者等の見守り活動			
2	概要	民間企業が行う日常の配達等の際に高齢者等の異変に気づき、必要と判断した場合には、区障害高齢課又は総合支所保健福祉課へ連絡し、必要な支援につなげる。			
3	担当課名	健康福祉局高齢企画課			
4	事業の対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他()			
5	平成29年度実施状況	新たに1事業者(JA仙台)との協定を締結し、協定締結先は5事業者となった。平成29年度の通報実績は18件であった(平成28年度は21件)。			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		0千円	0千円		
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと			
		新たに1事業者との協定を締結したことで、より多くの主体による重層的なネットワークを構築できた。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	締結希望のある事業者からの要望があれば、随時、協定締結に向けた調整を進め、より重層的なネットワークの構築を図る。		
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑪のことをいう</small>	→	①	
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	⑤⑥⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		※以下から選択、番号を記入(複数回答可)			
<input type="checkbox"/> ①NPO <input type="checkbox"/> ②ボランティア団体 <input type="checkbox"/> ③福祉サービス事業者 <input type="checkbox"/> ④学校 <input type="checkbox"/> ⑤相談機関(相談機関名:地域包括支援センター) <input type="checkbox"/> ⑥企業 <input type="checkbox"/> ⑦民生委員児童委員 <input type="checkbox"/> ⑧町内会 <input type="checkbox"/> ⑨地区社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> ⑩コミュニティソーシャルワーカー(CSW) <input type="checkbox"/> ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所(CSWを除く) <input type="checkbox"/> ⑫市の関係部局(各課公所名:区障害高齢課、ガス局)					
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況(うまくいった点、工夫した点など)					
協定締結事業者からの通報について、各区役所が窓口となり、必要に応じて地域包括支援センターと連絡を取りながら、個別の事例に適切に対応できた。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築	
1	事業名	11 市民健康づくり推進事業	
2	概要	市民が生涯にわたって健康で生き生きと暮らすことにより健康寿命を延伸し、高齢化が加速する中でも市民の生活の質の維持・向上を図ることを目的に、「第2期いきいき市民健康プラン」に基づき、市民や関係機関・団体、事業所等と連携し、健康づくりを推進する。また、生活再建が進んでいるとはいえ、被災者の心身の健康問題は時間の経過とともに現れてくることもあり、長期化することから、移転先等におけるコミュニティ形成支援や心のケアを含む健康支援を継続的に実施する。	
3	担当課名	健康福祉局健康政策課	
4	事業の対象者	■ 高齢者 ■ 障害者 ■ 子育て世帯 ■ 地域活動者・支援者 ■ その他（働き盛り世代、被災者）	
5	平成29年度実施状況	<p>1 がん予防・早期発見に向けた企業や関係機関・地域団体と連携した啓発</p> <p>①企業連携によるがん検診啓発・受診促進：協定企業22社のロゴ入り啓発物を同封したマスク7,000枚作成。企業窓口配布。</p> <p>②ピンクリボンスマイルウオーク開催1,850人 民間企業、ボランティア団体との協働</p> <p>2 職場におけるメンタルヘルスの推進</p> <p>①全国健康保険協会宮城支部との共催による「職場のこころの健康づくりセミナー」を実施。参加者 189名</p> <p>3 健康的な食生活について関心を高める働きかけを関係団体等と実施</p> <p>①仙台市PTAフェスティバルにおける、生活習慣病予防コーナーの出展 270人</p> <p>4 歯と口の健康づくり啓発活動の充実</p> <p>①市民のつどい実行委員会主催の「歯と口の健康週間市民のつどい」実施 810人</p> <p>②仙台市PTAフェスティバルにおける「歯と口の健康づくり」コーナーの出展 950人（一社）仙台歯科医師会、東北大学歯学研究所との共催</p> <p>③医師会、歯科医師会、東北大学等と協働で3歳児カリエスフリー85プロジェクト等、乳幼児のむし歯予防を目的としたプロジェクトに取り組んだ。</p> <p>5 被災者への健康支援</p> <p>①心身の健康面で支援を要する方への訪問等による個別支援 9,285件（延）</p> <p>②健康相談、健康講座による支援を通じて被災者同士、地域の人との交流の機会を作る支援 開催回数 297回 参加延べ数 3,881人</p> <p>6 受動喫煙防止、防煙対策についての啓発</p> <p>①仙台市薬剤師会主催薬物乱用防止・防煙キャンペーンに出展し、たばこによる健康影響について啓発 600人</p>	
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額
		6,370千円	14,333千円
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと	
		市民の健康づくりをともに推進する関係団体と、仙台市民の健康課題や取り組みの方向性を共有することで、関係者同士が連携してネットワークを形成している。	
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性	
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	平成30年3月に、第2期いきいき市民健康プラン後期計画を策定し、6つの重点分野を設定した。分野毎に健康課題を明示し、メインターゲットを定めており、関係する団体との連携を強化しながら、健康課題解決に向けて取り組む必要がある。

8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況		
		■市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①
		■地域保健福祉活動の担い手との連携 ※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう	→	①
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった		
		(2) 連携相手		
		■連携できた相手	→	①②④⑥⑪⑫
		■連携したかったができなかった相手	→	なし
		※以下から選択、番号を記入(複数回答可)		
		①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー(CSW) ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所(CSWを除く) ⑫市の関係部局 (各課公所名：教育局健康教育課、子供未来局子供保健福祉課、運営支援課)		
		(3) 上記の理由、具体的な連携の状況(うまくいった点、工夫した点など)		
当課だけでは健診受診の啓発に限りがある中、協定企業締結先と連携することで、啓発の範囲が拡大し効率的に啓発できた。 ⑪⑫被災者の健康支援にあたっては、孤立防止も重要であることから地域活動を行っている団体や部署とも連携し、コミュニティ形成を含めた情報共有に努めている。				

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築			
1	事業名	12 働く市民の健康づくりネットワーク会議の開催			
2	概要	働く市民の健康づくりを推進するため、職域保健・地域保健の関係機関等が連携し、健康づくり活動の充実・強化を図る。また、関係機関同士の相互協力のあり方についての検討や事業の実施、情報交換等を行う。			
3	担当課名	健康福祉局健康政策課			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
5	平成29年度実施状況	働く市民の健康づくりネットワーク会議を開催し、構成機関の取組みや課題となっていることを共有した。また、こころの健康づくりに関するリーフレットを作製した。			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		0千円	0千円		
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと			
		働き盛り世代の健康づくりに関する内容を中心に情報交換を行い、ネットワークを強化することができた。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	生活習慣病予防やメンタルヘルス対策、受動喫煙防止対策等の健康課題について、より効果的、効率的な保健事業を展開するため、地域保健と職域保健とで情報を共有する場として活用していく必要がある。		
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	⑥⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		※以下から選択、番号を記入（複数回答可）			
①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：精神保健福祉センター、保健所・支所）					
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）					
心の健康づくりリーフレットの配布や受動喫煙防止宣言施設の登録等、各機関が連携しながら、働き盛り世代に対する健康づくりに取り組んでいる。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築			
1	事業名	13 妊娠・出産包括支援事業			
2	概要	妊娠期から子育て期にわたる総合的相談や支援を行う区役所・総合支所の母子保健担当部署を「子育て世代包括支援センター」と位置付け、保健師等が妊産婦に対して総合的相談を行うとともに、必要なサービスをコーディネートし、切れ目ない支援を実施する。			
3	担当課名	子供未来局子供保健福祉課			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て世帯 <input type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他（ ）			
5	平成29年度実施状況	医療機関等関係機関との連携強化に向け、各区・総合支所において産科医療機関へ訪問を行い、現状と課題解決に向けて情報共有を図ったほか、妊娠期から切れ目ない支援ができるように、母子健康手帳交付時に様々なツールを活用した。			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		8,748千円	27,972千円		
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと			
		医療機関等関係機関との情報共有を図ったことで、支援強化を図ることができた。また、アセスメントシートを活用することで、必要な方を支援につなげるためのアセスメントを行いやすくなった。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	医療機関等各関係機関との連携強化にむけた情報共有の継続と社会資源の充実に向けた新たな事業の検討の継続。		
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		※以下から選択、番号を記入（複数回答可）			
①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：各区家庭健康課・総合支所）					
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）					
現場で抱えている課題を医療機関等と情報共有することで、具体的な取り組みを考えることができた。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築			
1	事業名	14 子育て支援ネットワーク事業の実施			
2	概要	子育て支援に関わる関係機関、関係者で構成する場を設け、子育てに関する研修会や交流会などの事業を実施する。			
3	担当課名	子供未来局総務課			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（子育て支援に関わる関係機関）			
5	平成29年度実施状況	子育て支援ネットワーク推進員会議を年3回開催した。 また、12月8日にエル・パーク仙台でせんだい子育て支援者ネットワーク交流会を開催した（参加者76人）。			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		200千円	200千円		
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと			
		市内の子育て支援活動団体が一堂に会する交流会を実施し、全市的ネットワークの構築に貢献できた。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	交流会の開催に、より多くの団体が参加できるように働きかける。			
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①②⑥⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		※以下から選択、番号を記入（複数回答可）			
①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：各区家庭健康課、宮城総合支所保健福祉課）					
(3) 上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）					
推進員会議や交流会を通して、支援者同士のつながりが生まれるとともに、自活動への意欲が高まった。					

第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築			
1	事業名	15 児童虐待予防に向けた関係機関との連携推進			
2	概要	要保護児童対策地域協議会の活動を通じて、関係機関や医療機関との連携を図り、児童虐待の予防、早期発見、早期対応を強化する。			
3	担当課名	子供未来局子供家庭支援課			
4	事業の対象者	<input type="checkbox"/> 高齢者 <input type="checkbox"/> 障害者 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て世帯 <input type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input type="checkbox"/> その他 ()			
5	平成29年度実施状況	【代表者会議】 1回実施 (平成29年5月24日開催) 【実務者会議】 15回実施 (5区×3回) 【ケース検討会議】 5区合計176回実施			
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額		
		688千円	1,339千円		
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	(1) 貢献できたこと			
		代表者会議・実務者会議・ケース検討会議それぞれの場において、関係機関等と児童虐待の早期発見や予防・適切な支援に関する情報交換を行うことで関係機関等と円滑な連携を確保し、ネットワーク構築に貢献することができた。			
		(2) 課題と今後の取り組みの方向性			
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	今年度同様に実施し、要保護児童等の早期発見及び適切な保護を行えるように、関係機関が円滑につながるよう、ますますのネットワークの発展を図る。		
8	庁内または他の組織との連携状況	(1) 連携状況			
		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 <small>※担い手とは(2)連携相手①～⑫のことをいう</small>	→	①	
		※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった			
		(2) 連携相手			
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	③④⑦⑫	
		<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし	
		※以下から選択、番号を記入(複数回答可)			
		①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー(CSW) ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所(CSWを除く) ⑫市の関係部局(各課公所名:各区保健福祉センター、児童相談所、アーチル、教育局学校教育部、子供未来局子供育成部等)			
		(3) 上記の理由、具体的な連携の状況(うまくいった点、工夫した点など)			
さまざまな機関が会議体に参加することで、多くの機関が児童虐待の早期発見・予防についての視点を持つことができた。また、会議体でネットワークが構築されていることから、児童虐待関連の支援を行う際には、そのネットワークを生かすスムーズな対応につながっている。					

**第3期仙台市地域保健福祉計画「支え合いのまち推進プラン」
平成29年度における自己評価シート**

重点施策 (施策の方向4-2)		地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築													
1	事業名	16 学校支援地域本部事業													
2	概要	市民が学校を支援する活動を通して、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育成する体制を構築することにより、子どもたちの豊かな体験活動の創出や地域・家庭の教育力の向上を目指す「学校支援地域本部」の設置を推進する。													
3	担当課名	教育局学びの連携推進室													
4	事業の対象者	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者 <input checked="" type="checkbox"/> 子育て世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活動者・支援者 <input checked="" type="checkbox"/> その他（児童生徒）													
5	平成29年度実施状況	<p>○学校支援地域本部・支部校（107校）と、学校支援地域本部と連携した学校（連携校）33校と合わせて140校となり、学校支援体制づくりが進んだ。</p> <p>○平成30年3月末、学校支援地域本部事業の周知を図るため、地域向け広報用のブックレット「子どもたちの学びに地域の力を『仙台市の学校支援地域本部』」を発行した。</p> <p>○スーパーバイザー連絡協議会（研修会）を実施（全市で2回、各行政区1回）し、資質向上に向けた研修と情報交換等を行った。</p> <p>○設置本部・支部数 107本部 ・年間活動日数 のべ15,144日（2,514日増）</p> <p>○ボランティア実数 13,980人（2,550人増） ・年間学校支援ボランティアのべ人数 101,246人（4,143人増）</p>													
6	事業費	29年度決算額	30年度予算額												
		37,347千円	42,039千円												
7	重点施策「地域を構成するさまざまな主体間の重層的ネットワークの構築」に対して	<p style="background-color: #90EE90;">（1）貢献できたこと</p> <p>学校の教育活動を支援する体制づくりにより、学校と地域の様々な団体、個人とのネットワークづくりが進んでいる。また、地域社会と学校とのつながりができることで、児童生徒と地域の高齢者が、学習活動を通して関わる機会ができ、多世代の交流の場を提供している。</p> <p style="background-color: #90EE90;">（2）課題と今後の取り組みの方向性</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 継続</td> <td>学校支援地域本部の地域での担い手の確保と育成が課題であるが、学校支援本部設置校に加え、支部校や連携校を増やし、連携体制を強化することで、地域</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 拡大</td> <td>差にかかわらず全ての小中学校において、学校支援地域本部の効果が反映される体制づくりを進める。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 縮小</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td></td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 継続	学校支援地域本部の地域での担い手の確保と育成が課題であるが、学校支援本部設置校に加え、支部校や連携校を増やし、連携体制を強化することで、地域	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	差にかかわらず全ての小中学校において、学校支援地域本部の効果が反映される体制づくりを進める。	<input type="checkbox"/> 縮小		<input type="checkbox"/> 廃止					
<input type="checkbox"/> 継続	学校支援地域本部の地域での担い手の確保と育成が課題であるが、学校支援本部設置校に加え、支部校や連携校を増やし、連携体制を強化することで、地域														
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	差にかかわらず全ての小中学校において、学校支援地域本部の効果が反映される体制づくりを進める。														
<input type="checkbox"/> 縮小															
<input type="checkbox"/> 廃止															
8	庁内または他の組織との連携状況	<p style="background-color: #90EE90;">（1）連携状況</p> <table border="0"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携</td> <td align="center">→</td> <td align="center">①</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 ※担い手とは（2）連携相手①～⑫のことをいう</td> <td align="center">→</td> <td align="center">①</td> </tr> </table> <p align="center">※以下から選択、番号を記入 ①できた ②できなかった ③どちらともいえない ④必要なかった</p> <p style="background-color: #90EE90;">（2）連携相手</p> <table border="0"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手</td> <td align="center">→</td> <td align="center">①②③④⑥⑦⑧⑨⑪⑫</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手</td> <td align="center">→</td> <td align="center">なし</td> </tr> </table> <p align="center">※以下から選択、番号を記入（複数回答可）</p> <p>①NPO ②ボランティア団体 ③福祉サービス事業者 ④学校 ⑤相談機関 ⑥企業 ⑦民生委員児童委員 ⑧町内会 ⑨地区社会福祉協議会 ⑩コミュニティソーシャルワーカー（CSW） ⑪仙台市社会福祉協議会及び各区・支部事務所（CSWを除く） ⑫市の関係部局（各課公所名：まちづくり推進課、区民生活課、市民センター、公園課、防災計画課、環境局、消防局、保健福祉センター等）</p> <p style="background-color: #90EE90;">（3）上記の理由、具体的な連携の状況（うまくいった点、工夫した点など）</p> <p>学校からの要請を受けて、地域の情報やゲストティーチャーの紹介を行った。また、地域の様々な団体や施設の協力により、総合的な学習の時間や生活科の学習、防災や福祉の学習等での活動支援や安全確保等を行い、ネットワークづくりにも努めた。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①	<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 ※担い手とは（2）連携相手①～⑫のことをいう	→	①	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①②③④⑥⑦⑧⑨⑪⑫	<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし
<input checked="" type="checkbox"/> 市の関係部局内との組織横断的な連携	→	①													
<input checked="" type="checkbox"/> 地域保健福祉活動の担い手との連携 ※担い手とは（2）連携相手①～⑫のことをいう	→	①													
<input checked="" type="checkbox"/> 連携できた相手	→	①②③④⑥⑦⑧⑨⑪⑫													
<input checked="" type="checkbox"/> 連携したかったができなかった相手	→	なし													